

高志中学校生徒会新聞

平成二九年九月四日（月）

学校祭特集号

皆さん、もうすっかりいつもの学校生活に馴染んできた頃だと思いきや、今回の新聞では、あの充実した三日間を振り返りたいと思います。

フェニックス祭、文化祭、体育祭の三つに分けて紹介します。

一日目フェニックス祭

フェニックス祭とい

えば、伝統になりつつある中学校企画ミュージカル。今年のタイトルは「BEAUTY AND THE BEAST IN 福井」。タイトルの通り、「美女と野獣」がモチーフとなっていて、中学一、二年が中心となっていて行いました。去年よりも脚本や演出が凝っていて、衣装や道具は特に大変だったようです。しかし、おかげでミュージカルの完成度は大変素晴らしく、例えばダンスはとても迫力があり、高校生も驚いていました。また、今年の流行を取り入れたユーモアあふれるギャグも印象的でした。感動のラストシーンでは三年生らも加わり、約二七〇人で大合唱を行いました。



赤組部門長の飛山君（3C）は「二から三年生までの学年の壁を超えた仲間と、試行錯誤しながら活動してきた結果が出たので最高です！」



と述べていました。

二日目文化祭

上の写真は中高の学校祭実行委員会が協力して作ったW校長先生をモチーフとしたモザイクアートです。これは三千枚以上の写真を用いて作られたモザイクであり、中には中学生の学校生活の様子の写真もたくさん使われています。



クラスメートだけで作り上げる高志学企画は、多くの生徒が携わった企画の一つだと思います。一、二年生は高志学の中間発表、三年生は高志学の集大成として体験型展示を行いました。特に三年生はミュージカルへの関わりが少ない分、高志学企画に予算も人数も多くあて

られており、中学校三年生を冠する企画にふさわしい展示ができたと思います。左の写真は上から三年生、二年生、一年生の高志学企画の様子です。

ほかにも、文化部の



展示や発表も見物でした。サイエンス部、書道部、展示かどうかはグリーゾーンの囲碁・将棋部等に足を運ぶ生徒も多かったです。文化部の活動を知ることが出来る貴重な機会となりました。

最終日は高校生と一致団結して皆さん頑張ったことだと思います。

三日目体育祭

今年の体育祭では中学生はバクダングゲームやでかパンリレーなどにも参加していて白熱した戦いでした。中学生全員リレーは中学生だけで行う数少ない競技の一つでした。転倒

も多く、怪我人も出ましたが、その分生徒の競技に対する熱も伝わってきました。各学年で一位だった色は一年生から順に、緑、黄色、緑と、緑色が強かったですが、全員全力を尽くせたと思います。

また、高校生が種目に参加しているときには大声で応援していました。途中からは作り物部門のマスコットも応援に加わり、応援という面でも全力を尽くしていました。

総合結果は赤組が優勝、黄組が準優勝と嬉しかったチームと悔しかったチームがあったと思いますが、思い出の一ページとして皆さんの心にしっかりと残ったのではないのでしょうか。今年は比較的涼しかったので、熱中症になる生徒が少なかったのもよかったです。



とても充実した学校祭

でした。そこには、リボンを提供していただいた井上リボンさん、段ボールを提供して頂いた川端段ボールさんほか、イチチョライNPOさん、中内さんから福井大学ヨサコイサークルの皆さん、山口さんから高志高校合唱部の皆さんなど、たくさんの方々のご協力がありました。本当にありがとうございました。

編集後記 どの生徒の顔も生き生きしており大量の写真の中からどの写真を載せるべきかとても迷いました。どの部門も準備期間に熱心に作業をしていましたが、そんな準備あつてこそその最高に充実した三日間だったな、と感じました。執筆 書記局員 南後 翔太郎（3B）